

全国道路利用者会議第66回全国大会開催

道路整備財源の安定的確保が、今後の課題!!

全国道路利用者会議 第66回全国大会



全国道路利用者会議は、10月20日（木）広島国際会議場「フェニックスホール」において第66回全国大会（臨時総会）を開催した。約1,200名が参加し、増田博行国土交通省大臣官房審議官（国土交通大臣代理）、湯崎英彦広島県知事、松井一広広島市長、宇田伸広島県議会議長など、来賓が多数出席。道路整備に対する意見発表、役員の一部改選等が行われ、地域の安全・安心、国土の強靱化、地方創生を実現し、必要な道路整備を着実に推進することなどを求める大会決議の採択を行った。

大会は、檜川俊宏全国大会実行委員会委員長（広島県議会議員）の「我々は活力にあふれ、安心出来る社会を次の世代に引き継ぐため、一人一人が道路の現状を認識し、必要な道路整備を進める固い決意のもとで、将来に対する責任に真剣に向き合わなければならぬ」と考えている。このた

め私どもといたしては、古賀会長のもと、一層団結し、真に必要な道路整備の推進に全力で取り組んでいく。」との開会挨拶ではじまった。続いて、古賀誠全国道路利用者会議会長が「我が国の高規格幹線道路から生活道路にいたるまで、道路の必要性は我が国の力であり、道路は命の道である。そういう認識のもとに今後も懸命の努力を私どもは重ねていかなければならないと決意をあらたにしている。同時に自然災害、時と場所を選ばない国防災・減災そうした強い国土作りにも新たな視点をあてていかねばならないと思

っている。」と挨拶を行った。次に、増田博行国土交

通省大臣官房審議官(国土交通大臣代理)が「施策を進めていくためには、公共事業予算は、長期的視点に立つて、安定的・持続的に確保されるべきである。国土交通省としても、今日ここにお集まりの道路利用者の皆様の幅広いご意見を伺いながら、必要な道路施策を着実に推進し、活力ある国づくりに取り組んでいく。」と挨拶をした。

地元からは湯崎英彦広島県知事が「道路に関するニーズの高まりを踏まえ、本県においても広域的な交流・連携基盤の強化、災害に強い道路ネットワークの構築等に向けて道路整備を進めているが、取組に必要な予算は十分に確保されているとは言い難い状況にあると考えている。道路整備に必要な予算の確保に向けて本日お集まりいただいております皆様と連携をしながら引き続き努力していきたい。」と挨拶、次いで、松井一實広島市長が「道路利用者の方々の意見をしっかりと集約して、長期的かつ安定的な道路整備の一層の推進に向けて全国の皆様が一同に会して議論することの大会は非常に意義があるものと考えている。皆様にはそれぞれのお立場でこの大会の成果を生かして引き続き道路整備の促進にご尽力いただきたい。」と挨拶。

続いて、宇田伸広島県議会議長が「ミッシングリンクと言われる未整備部分や渋滞等が存在し、道路の機能が十分に發揮されていない箇所も多いのも事実であり、住民の安全・安心の確保はもちろんのこと、広域的な交流・連携を図るためにもこれらの解消を含め、更なるネットワークの強化を図り、時代とともに多様

決議

地方創生、国土強靱化、地域の安全・安心、生産性の向上を実現し、ストック効果を早期に発揮させるため、道路利用者の意見を十分反映しつつ、次に掲げる項目を計画的かつ着実に実施すること。

- 一、東日本大震災からの復興加速、熊本地震の被災地の復興・復興と全国的事前防災、減災対策
- 一、幹線道路の耐震強化及び道路の老朽化対策
- 一、高規格幹線道路等の未整備区間の解消、暫定二車線区間の四車線化、新東名の六車線化の早期実現
- 一、高速道路料金的事業者向け割引の継続
- 一、「SA・PA」や「道の駅」における駐車スペースの整備・拡張及びバスターミナルやバス停などバス利用拠点の整備・改善
- 一、人流・物流の生産性の向上のための渋滞対策
- 一、通学路や生活道路、自転車通行空間確保等の交通安全対策
- 一、「スマートIC」や「道の駅」の整備及び「無電柱化」の推進並びに「SA・PA」を活用した拠点の形成

長期安定的に道路整備が進められるよう、平成二十九年道路関係予算は要求額を満額確保すること。

平成二十八年十月二十日

全国道路利用者会議
第六十六回全国大会

な価値を生み出す道路に変わっていく必要があると考えている。」と挨拶を行った。

経済の活性化のために、高速道路ネットワークの早期整備や

議事では、檜山俊宏全国大会実行委員会委員長（広島県議会議員）を議長に指名し、是非とも、道路渋滞対策等に、進めていたが、

最初に、壺坂須美男大会
実行委員会副委員長（岡山
県トラック協会会長）から
「中国地区においては、山
陰道に今なおミッシングリ
ンクが残るなど、広域交通
網の整備は、まだまだ道半
案を河崎静生大

私どもの努力を
後押ししてい
た
だ
き
たい。」と
道路整備を求め
る意見発表が行
われ、大会決議

ばの状況である。私どもは、人口減少社会の到来に伴う労働者の減少に対応していくため、輸送効率を高

め、生産性を向上させるなど、経営努力を重ねているが、地域産業の発展と地域

また、来年度
について、宮城
木建築部長か



委員長（山
会会長）が
致で採択さ
り、平成29年10月に沖縄
で開催されることが賛成
数で了承された。
最後に、三島進大会実

の全国大会
理沖縄県土
つ発言があ
委員会副委員長（島根県
ラック協会会長）の閉会
ことばにより大会が終了、

平成28年度
路ふれあい月間
推進標語

『道ぎれい』

そんな所は

人きれい』

來賓紹介

増田博行国土交通省大臣官房審議官（国土交通大臣代理）、湯崎英彦広島県知事、松井一實広島市市長、宇田伸広島県議会議長、谷口修広島市議会議副議長、狹戸尾浩広島県議会建設委員会委員長

【友誼団体 道路公社】
伏見光曉（一社）日本道路建設業協会中国支部長、高井巖広島高速公路公社理事長、抹香尊文広島県道路公社理事長

【国会議員・代理】
〔衆議院議員〕

丸山隆英國土交通省中國地方整備局長
【高速道路株式會社】
行、中川俊直、寺田稔、井靜香、小林史明、小島敏文、新谷正義、齊藤鉄夫

建設部長、野口英正
日本高速道路(株)建設企画部長、真治
前邦彦
西日本高速道路(株)建設部長、富沢洋一
溝手顕正、森本

高速道路(株)計画・環境部長、岡本博阪神高速道路(株)取締役常務執行役員、金崎文、新谷正義、斎藤鉄夫

(株)取締役常務執行役員、北 村弘和西日本高速道路(株) 国支社長	宮沢洋一、溝手顕正、森本 真治 〈敬称略〉
---	-----------------------------

た。

大会後、長田佳子氏（関西・中国・四国じゃらん）

企業

会社

5) 1511 代表

編集長)による講演会「旅行マーケティングの最新情報について」(中国四国エリア)

テムサー

 HIREKI 株式会社

3-29 TEL 03

向」が行われ、終了後に、岡山県コース、広島県コース、山口県コース及び

鳥取県・島根県コースにわかれ道路視察が行われた。
《関連記事は2・3面》

“道

三

東京都

“道路総合システムサービス”企業



NICHIREKI

ニチレキ株式会社

東京都千代田区九段北4-3-29 TEL 03(3265)1511 代表